

(様式第 9)

宮大医医第 98 号
平成 25 年 10 月 2 日

九州厚生局長 殿

宮崎大学医学部附属病院長
池ノ上 邦子

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	34人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	210人	170人	333.6人	看護補助者	60人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	4人	10.0人	理学療法士	11人	臨床検査技師	42人
薬剤師	27人	1人	28.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助産師	20人	4人	22.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	502人	98人	583.4人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	45人
歯科衛生士	1人	4人	4.3人	歯科技工士	1人	事務職員	61人
管理栄養士	5人	2人	7.0人	診療放射線技師	31人	その他の職員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	519.4人	13.4人	532.8人
1日当たり平均外来患者数	899.9人	57.8人	957.7人
1日当たり平均調剤数	2011.0 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
末梢血単核球移植による血管再生治療	2人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	29人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PRC法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
硬膜外自家血注入療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
化学療法に伴うカフェイン併用療法	3人
残存聴力活用型人工内耳挿入術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	慢性閉塞性肺疾患の運動耐容能改善効果の評価	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 慢性呼吸不全を来した患者を対象にペプチドホルモングレリンを3週間にわたって点滴静注し(1日2回投与)、運動耐容能の改善、食欲、体重増加を評価する。			
医療技術名	慢性下気道感染症に対するグレリン投与	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 慢性下気道感染症のため体重減少を来し、喀痰の多い患者を対象にペプチドホルモングレリンを2週間にわたってし、(1日2回投与)プラセボ投与群と比較して、喀痰量の減少、体重の増加を評価する			
医療技術名	膵石症に対する体外衝撃波結石破碎療法(ESWL)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 膵石に対する体外衝撃波結石破碎療法は、体外衝撃波結石破碎装置を用いて体外からの衝撃波で膵管内膵石粉碎化の後に消失させる悲観血的な治療法である。衝撃波は、硬いが脆い膵石を効率よく結晶細片に粉碎するのである。本治療法は、低侵襲で安全性が高く、結石破碎効果および症状緩和効果が高く、膵石症に対する有効な一つである。			
医療技術名	難治性気分障害に対する経頭蓋磁気刺激療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 精神療法・薬物療法等の治療に抵抗性のうつ病をはじめとする気分障害に対し、患者の同意を得たうえで経頭蓋療法を行っている。			
医療技術名	ケミカルピーリング	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 尋常性痤瘡等の疾患に対し行う。			
医療技術名	円形脱毛症へのDPCP療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 難治性の円形脱毛症に対し、DPCPを用いた免疫賦活療法を行っている。			
医療技術名	皮膚悪性リンパ腫へのACNU外用療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 皮膚悪性リンパ腫の皮膚病変に対し、抗癌剤であるACNUの外用療法を行っている。			
医療技術名	酒渣皮に対する色素レーザー療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 酒渣皮に対し、レーザー療法を行う。			
医療技術名	網膜変性患者の遺伝子解析	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 網膜変性患者の疾患遺伝子を検索し、原因を解明する。			
医療技術名	埋め込み型骨導補聴器(BAHA)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 混合難聴者及び片側聾患者に対し、BAHAによる聴力補償を行った。			

医療技術名	中耳真珠腫に対する前鼓室開放術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 中耳真珠腫の術後再発予防策としての追加術式。			
医療技術名	妊娠22～23週の超未熟児に対する集学的集中治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 妊娠22～23週で出生した未熟児は生存限界であり、呼吸循環管理に加え、消化管、皮膚、感染症対策など集学的な管理と緻密なケアとを必要とし、妊娠24週以降とは別レベルの高度医療が必要である。			
医療技術名	癒着胎盤の術前診断と周術期管理	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 妊娠中期から超音波画像、MRI画像を用いた画像診断と危機的出血を回避するための集学的(輸血部、放射線部、手術部、泌尿器科、麻酔科等)管理。			
医療技術名	口腔癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 口腔癌症例において、頸部リンパ節への転移の有無を、センチネルリンパ節理念により術中に同リンパ節を固定し摘出し、迅速に病理組織学的に転移しているか否かを診断し、その結果により頸部郭清術を施行するか否かを決定する。			
医療技術名	在胎22週～24週で出生した児に対する全身管理	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 生育の限界にあるこの週数で出生した児に対する集学的治療。			
医療技術名	Ex utero intarapartum treatment	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 胎盤循環を保ったまま胎児の外科的処置を行う集学的治療。			
医療技術名	腹膜透析	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 新生児の腎不全に対して行う透析療法。			
医療技術名	遺伝性疾患患者に対する遺伝カウンセリング	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 遺伝性疾患患者ならびにその家族に対し、疾患の遺伝性、再発率、サポートグループの情報提供を行うとともに、心理的ケアを行う。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	89人	・膿疱性乾癬	19人
・多発性硬化症	51人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	83人	・原発性胆汁性肝硬変	51人
・全身性エリテマトーデス	276人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	91人
・再生不良性貧血	30人	・混合性結合組織病	53人
・サルコイドーシス	93人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	42人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	188人	・網膜色素変性症	47人
・特発性血小板減少性紫斑病	41人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	42人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	309人	・神経線維腫症	28人
・大動脈炎症候群	22人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	25人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9人
・脊髄小脳変性症	36人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	234人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	7人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	117人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	92人	・肥大型心筋症	26人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	38人	・ミトコンドリア病	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	15人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	5人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	36人	・黄色靭帯骨化症	7人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	187人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・経皮的骨形成術 有痛性悪性骨腫瘍	・
・インプラント義歯	・
・エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・超音波骨折治療法	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会(CPC) 22回(院内死亡症例のCPC開催数) 骨髄カンファレンス:週1回、神経放射線・病理カンファレンス:2週に1回、泌尿器病理カンファレンス:週に1回、婦人科病理カンファレンス:2週1回、胎盤病理:週1回
部 検 の 状 況	部検症例数 26例 / 部検率 8.10%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アドレノメデュリンの炎症性腸疾患治療薬としての実用化へ向けた基盤研究	芦塚 伸也	第一内科	2,080,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
腹部大動脈瘤の病態解明と細胞内エネルギー制御による内科的治療法の基盤確立	鶴田 敏博	第一内科	1,560,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
難治性血管炎に関する調査研究	藤元 昭一	第一内科	1,890,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
IgA腎症新規バイオマーカーを用いた血尿の2次スクリーニングの試み	藤元 昭一	第一内科	2,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域療システムの制度設計	藤元 昭一	第一内科	700,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
閉塞性動脈硬化症に対する単核球移植とアドレノメデュリン併用療法	北 俊弘	第一内科	2,080,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
腹部大動脈瘤におけるアドレノメデュリン・マスト細胞の意義と新たな治療法の開発	北村 和雄	第一内科	3,640,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
褐色細胞組織に存在する新規生理活性ペプチドの系統的探索	北村 和雄	第一内科	1,430,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
化学療法歴のない進行胃癌に対するTS-1+シスプラチン併用療法の5週サイクル法と3週サイクル法とのランダム化比較第Ⅲ相試験(SOS Study)	稲津 東彦	第一内科	210,000	補委 特定非営利活動法人西日本がん研究機構
ヒトの尿に内在する新たな循環腎臓疾患のバイオマーカーの開発	永田 さやか	第一内科	1,170,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)
骨髄増殖性腫瘍における病型の進展と急性転化メカニズムの解明	北中 明	第二内科	1,820,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
原発性骨髄線維症におけるHOXB4の機能同定と、USFを標的とする治療法の開発	下田 和哉	第二内科	1,690,000	補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
潜在性HTLV-1感染関連疾患の発見と実態調査	下田 和哉	第二内科	9,100,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
AMLの低酸素環境下抗癌剤耐性の機序解明と低酸素選択的薬剤による根治療法の開発	下田 和哉	第二内科	130,000	補委 科学研究費補助金(文部科学省)

小計14

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

骨髄系腫瘍における造血幹細胞腫瘍化メカニズムの解明、および新規治療標的分子の探索	幣 光太郎	第二内科	1,560,000	補 委	科学研究費補助金(文部科学省)
ゼノグラフトモデルマウスを用いたHTLV-1感染バイオアッセイ系の確立と臨床応用	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	390,000	補 委	科学研究費補助金(文部科学省)
HTLV-1感染に関連する非ATL非HAM希少疾患の実態把握と病態解明	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	8,918,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
急性肺損傷に対するグレリンの肺保護作用機構の解析と臨床応用	中里 雅光	第三内科	2,210,000	補 委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
インスリン分泌を制御する新たなエネルギー代謝調節ペプチド探索における日韓共同研究	中里 雅光	第三内科	3,500,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
「早期診断マルチバイオマーカー発」(がん細胞が特異的に生成するシェディング産物の網羅的解析によるがんの早期診断システムの開発)	中里 雅光	第三内科	9,000,000	補 委	文部科学省
新規ペプチドNERPおよび新規グラニン由来ペプチドのインスリン分泌制御機能の探索	山口 秀樹	第三内科	1,690,000	補 委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
蛋白同化を介して抗加齢に機能するグレリンの発現に及ぼす加齢と運動の影響	十枝内 厚次	第三内科	1,560,000	補 委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
新規生理活性ペプチドの機能解析による創薬シーズとしての可能性の検討	十枝内 厚次	第三内科	585,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
グレリンの肺癌化学療法における副作用抑制効果の検証	松元 信弘	第三内科	1,040,000	補 委	科学研究費補助金(文部科学省)
グレリン併用運動療法の多面的抗生活習慣病作用に関する研究	上野 浩晶	第三内科	1,560,000	補 委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
肥満におけるエネルギー代謝調節ペプチドの病態生理学的意義の解析	中里 雅光	第三内科	21,840,000	補 委	科学研究費補助金(文部科学省)
新規視床下部ペプチドの網羅的探索と機能解析	中里 雅光	第三内科	4,940,000	補 委	科学研究費補助金(文部科学省)
癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究	中里 雅光	第三内科	34,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
中枢性摂食異常症に関する研究	中里 雅光	第三内科	1,100,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計15

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

間脳下垂体障害に関する調査研究	中里 雅光	第三内科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
脳の老化制御機構の解明	田口 明子	第三内科	2,340,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
脳老化と神経変性疾患発症の分子機構の解明	田口 明子	第三内科	5,850,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
上皮間葉転換早期相を焦点とする急性肺損傷発症機構の解明と新規治療法の探索	柳 重久	第三内科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
慢性閉塞性肺疾患の早期発見のための質問票診断ツールの開発と検証	有村 保次	第三内科	2,470,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
脳内ドパミン神経系における転写調節因子の機能解析を目的とした行動薬理学的研究	石田 康	精神科	1,950,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)省
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	布井 博幸	小児科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
小児先天性・難治性疾患に対する遺伝子・細胞治療の開発と実施	布井 博幸	小児科	500,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
高病原性鳥インフルエンザの診断・治療に関する国際連携研究	布井 博幸	小児科	3,100,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
胎盤の細胞融合におけるMfsd2遺伝子の機能解析	盛武 浩	小児科	650,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
進行・再発腺癌に対する新規エビトープペプチドカクテル療法と標準化学療法との併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	千々岩 一男	第一外科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究	帖佐 悦男	整形外科	3,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
骨・軟骨に異常をきたす疾患モデルマウスライブラリーの構築	関本 朝久	整形外科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
義足歩行・動作のメカニズムの解明と臨床応用	鳥取部 光司	整形外科	1,300,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
宮崎市清武町域における皮膚がんの研究	加嶋 亜紀	皮膚科	800,000	補委	宮崎市

小計15

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

成人T細胞白血病・リンパ腫患者における免疫反応パターン解析	室井 栄治	皮膚科	1,820,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	天野 正宏	皮膚科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
進行性前立腺癌における新しい治療ターゲットの探索	賀本 敏行	泌尿器科	1,820,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
網膜変性症の原因の解明	直井 信久	眼科	1,170,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
プレスティン蛋白の膜発現様式と外有毛細胞機能との関係	松田 圭二	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
片側人工内耳例に対するセカンドインプラントの効果推定検査:ポジトロン断層法の応用	東野 哲也	耳鼻咽喉科	2,860,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
Usher症候群に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	400,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
新しい人工内耳(EAS)に関する基礎的、臨床的研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	900,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
次世代シーケンサーを用いた難聴遺伝子の網羅的解析	東野 哲也	耳鼻咽喉科	650,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
高度医療 残存聴力活用型人工内耳挿入術の適応症および有効性、安全性に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
看護師等の高度な臨床実践能力の評価及び向上に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,800,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
HTLV-1 母子感染予防に関する研究:HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,500,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
発達期の副交感神経活動性と低酸素虚血性脳障害の重症度に関する基礎的研究	鮫島 浩	産科婦人科	1,690,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)

小計15

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

動物モデルを用いた静脈血栓塞栓症の診断と治療	田村 正三	放射線科	1,040,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
分子標的を応用した新たな静脈血栓塞栓症治療	古小路 英二	放射線科	1,300,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
3T MRIを用いた聴器画像診断の最適化に関する基礎的・臨床的検討	小玉 隆男	放射線科	780,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
HDAC分子標的エピジェネティクスPET診断の基礎及び臨床的応用	西井 龍一	放射線科	6,370,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
新規アミノ酸ボジロン製剤を用いたテーラーメイド癌分子標的診断法の開発	西井 龍一	放射線科	650,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
小児心肺補助システムを長期間、安全に使用するための新提案	押川 満雄	麻酔科	1,300,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
局所麻酔薬のDNA脱メチル化による腫瘍細胞増殖抑制および致死機序の解明	鬼塚 信	麻酔科	3,770,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
ヒト血管の反応性;正常反応から病態変化に関する研究	恒吉 勇男	麻酔科	1,430,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
グルコース感受性蛍光指示薬を用いた麻酔薬の神経細胞内グルコースへの影響の検証	田村 隆二	麻酔科	3,380,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
神経障害痛に対する間欠的高周波照射の作用メカニズムに関する研究	田中 信彦	麻酔科	2,860,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
オレキシン受容体の機能解析-麻酔との関連-	白阪 哲朗	麻酔科	4,160,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
敗血症性ショックに対する新規治療薬の開発	矢野 武志	麻酔科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
C.elegans幹細胞株樹立と腫瘍・糖鎖遺伝子発現制御による腫瘍モデルへの応用	水口 惣平	脳神経外科	1,696,731	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第III相臨床研究	竹島 秀雄	脳神経外科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
MEL1/PRDM16による骨分化制御機構の解明	井川 加織	歯科口腔外科・矯正歯科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)

小計15

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

神経・摂食関連ペプチドが消化管運動と睡眠時ブラキシズムの発現と抑制に及ぼす影響	永田 順子	歯科口腔外科・矯正歯科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
外科的矯正治療は上部消化管、自律神経、内分泌機能の改善に役立つのか?	吉田 真穂	歯科口腔外科・矯正歯科	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
間質性肺炎におけるマイクロパーティクルの役割と情報伝達物質としての意義	長友 安弘	検査部	650,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
重度免疫不全マウスを用いたHTLV-1欠損プロウイルス生成メカニズムの解明	上野 史朗	検査部	1,950,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
周術期関連薬剤によるインスリン抵抗性発現機序の解明	与那覇 哲	手術部	2,080,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	川村 慎二	放射線部	600,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
膵臓癌における癌関連遺伝子発現とFDG集積との関連に関する研究	長町 茂樹	放射線部	1,560,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
血小板造血および血小板機能シグナルにおけるRUNX1の役割の解明	下田 晴子	輸血・細胞治療部	2,210,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
テネシン-C由来新規ペプチドを用いた造血幹細胞由来の輸血製剤の開発	久富木 庸子	輸血・細胞治療部	1,170,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
明らかな骨量減少をきたすLima1/EPLIN遺伝子欠損マウスの機能解析	船元 太郎	救命救急センター	2,470,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
迷走神経刺激による周産期脳障害の予防の試み	古川 誠志	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
スマートフォンを用いる臨床医療のナレッジマネジメント	荒木 賢二	医療情報部	195,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
医療ミスを経験させる知識シミュレーションのナレッジマネジメント研究	山崎 友義	医療情報部	1,820,000	補委	学術研究助成基金助成金(文部科学省)
スマートフォンを用いる臨床医療のナレッジマネジメント	山崎 友義	医療情報部	4,940,000	補委	科学研究費補助金+学術研究助成基金助成金(文部科学省)

小計14

合計88

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Inhibition of development of abdominal aortic aneurysm by glycolysis restriction.	Tsuruda T	第一内科
Inflammatory Bowel Diseases	Adrenomedullin: a novel therapy for intractable ulcerative colitis.	Kita T	第一内科
Diabetes Care	Association of high pulse pressure with proteinuria in subjects with diabetes, prediabetes, or normal glucose tolerance in a large Japanese general population sample.	Sato Y	第一内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Characterization of the single transmembrane domain of human receptor activity-modifying protein 3 in adrenomedullin receptor internalization.	Kitamura K	第一内科
Nephrology (Carlton)	Comparison of the effects of intravenous methylprednisolone pulse versus oral prednisolone therapies on the first attack of minimal-change nephrotic syndrome in adults.	Sato Y	第一内科
Journal of American Society of Hypertension	Differential blood pressure reductions by angiotensin receptor blocker plus calcium channel blocker or diuretic in elderly hypertension with or without obesity.	Kita T	第一内科
Clinical Nephrology	Effect of lanthanum carbonate vs. calcium carbonate on serum calcium in hemodialysis patients: a crossover study.	Sato Y	第一内科
European Journal of Pharmacology	Effects of proangiotensin-12 infused continuously over 14days in conscious rats.	Kitamura K	第一内科
Nephrol Dial Transplant	Glycohemoglobin not as predictive as fasting glucose as a measure of prediabetes in predicting proteinuria.	Sato Y	第一内科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BMJ Case Report	Postinfarction dissecting intramyocardial haematoma in a patient treated with immunosuppressant.	Tsuruda T	第一内科
British Journal of Pharmacology	The third extracellular loop of the human calcitonin receptor-like receptor is crucial for the activation of adrenomedullin signalling.	Kitamura K	第一内科
Clinical and Experimental Hypertension	Three-year safety and effectiveness of fixed-dose losartan/hydrochlorothiazide combination therapy in Japanese patients with hypertension under clinical setting (PALM-1 Extension Study).	Kita T	第一内科
Renal Failure	Tonsillectomy Delays Progression of Advanced IgA Nephropathy to End-Stage Kidney Disease.	Komatsu H	第一内科
International Journal Hematology	Acute myeloid leukemia in clinical practice: a retrospective population-based cohort study in Miyazaki Prefecture, Japan.	Shide K	第二内科
Molecular Medicine Reports	Difference in serum complement component C4a levels between hepatitis C virus carriers with persistently normal alanine aminotransferase levels or chronic hepatitis C.	Shimoda K	第二内科
Leukemia Research	Elevated HIF-1 α expression of acute myelogenous leukemia stem cells in the endosteal hypoxic zone may be a cause of minimal residual disease in bone marrow after chemotherapy.	Shimoda K	第二内科
Annals of Hematology	Potentiated activation of VLA-4 and VLA-5 accelerates proplatelet-like formation.	Shimoda K	第二内科
Leukemia	TET2 is essential for survival and hematopoietic stem cell homeostasis.	Shimoda K	第二内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell Metabolism	Tyk2 and stat3 regulate brown adipose tissue differentiation and obesity.	Shimoda K	第二内科
The Journal of Rheumatology	Arteriosclerosis of whole aorta in takayasu arteritis.	Umekita K	膠原病・感染症内科
International Journal of Cancer	Proviral loads of human T-lymphotropic virus type 1 in asymptomatic carriers with different infection routes.	Ueno S	膠原病・感染症内科
宮崎県医師会医学会誌	宮崎県における関節リウマチに対する生物学的製剤の使用実態調査 第1報.	梅北邦彦	膠原病・感染症内科
臨床病理	膠原病患者に合併した細菌感染症診断におけるプロカルシトニン測定の有用性.	高城一郎	膠原病・感染症内科
Lung	A possible role of galectin-9 in the pulmonary fibrosis of patients with interstitial pneumonia.	Yanagi S	第三内科
The Cerebellum	Ataxic hemiparesis: neurophysiological analysis by cerebellar transcranial magnetic stimulation.	Mochiduki H	第三内科
Clinical Neurophysiology	Bidirectional modulation of sensory cortical excitability by quadripulse transcranial magnetic stimulation (QPS) in humans.	Mochiduki H	第三内科
Lung	Clinical usefulness of the two-question assessment tool for depressive symptoms in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Nakazato M	第三内科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine	Epithelial Pten controls acute lung injury and fibrosis by regulating alveolar epithelial cell integrity.	Yanagi S	第三内科
Journal of atherosclerosis and thrombosis	Ezetimibe ameliorates atherosclerotic and inflammatory markers, atherogenic lipid profiles, insulin sensitivity, and liver dysfunction in Japanese patients with hypercholesterolemia.	Ueno H	第三内科
European Journal of Pharmacology	Ghrelin prevents the development of experimental diabetic neuropathy in rodents.	Nakazato M	第三内科
PLoS One.	Ghrelin treatment of cachectic patients with chronic obstructive pulmonary disease: a multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Nakazato M	第三内科
International Cancer Conference Journal	hepatic portal venous gas in a patient undergoing chemotherapy for non-small cell lung cancer.	Iiboshi H	第三内科
Metabolism: Clinical and Experimental	Intestinal fatty acid infusion modulates food preference as well as calorie intake via the vagal nerve and midbrain-hypothalamic neural pathways in rats.	Nakazato M	第三内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Neuroendocrine regulatory peptide-2 stimulates glucose-induced insulin secretion in vivo and in vitro.	Yamaguchi H	第三内科
Atherosclerosis	Nighttime blood pressure, nighttime glucose values, and target-organ damages in treated type 2 diabetes patients.	Nakazato M	第三内科
九州神経精神医学	BPSDと抑肝散.	林要人	精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医療の質・安全学会誌	Importnace of job continuity in performance of patient safety officers.	Abe H	精神科
European Archives of Otorhinolaryngology	Neuro-otological findings in psychiatric patients with nystagmus.	Ishida Y	精神科
精神科	アリピプラゾールおよび抑肝散が攻撃性等の精神症状に奏功したミトコンドリア病疑いの一症例.	倉増伸二	精神科
精神医学	うつ病エピソードとの鑑別に苦慮したクッシング症候群の1例.	長友慶子	精神科
九州神経精神医学	シロスタゾールによって誤嚥性肺炎の頻度が減少した慢性期の脳梗塞の4症例.	松尾寿栄	精神科
臨床精神医学	高齢者への睡眠薬や抗精神病薬と骨折.	石田康	精神科
臨床精神医学	大規模災害発生時の精神保健医療活動にかかわる情報伝達・共有システムの構築.	安部博史	精神科
臨床精神医学	東日本大震災に伴う精神疾患の発症・症状増悪?被災遠隔地における実態調査.	長友慶子	精神科
精神医学	統合失調症の多飲症に対してquetiapineが奏効した2症例.	長友慶子	精神科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dementia Japan	認知症患者の行動・心理症状(BPSD)に対する抑肝散長期投与の安全性および有効性の検討.	石田康	精神科
Curr Chem Genomics	A Dual Reporter Splicing Assay Using HaloTag-containing Proteins.	Nunoi H	小児科
Allergology International	Aberrant cytokine responses to influenza A virus in a child with severe influenza A infections.	Nunoi H	小児科
American Journal of Hematology	Acute megakaryoblastic leukemia and severe pulmonary fibrosis in child with Down syndrome: Successful treatment with ultra low-dose cytarabine using GATA1 mutation to monitor minimal residual disease.	Moritake H	小児科
Applied Radiation and Isotopes	Boron neutron capture therapy (BNCT) selectively destroys human clear cell sarcoma in mouse model.	Moritake H	小児科
Blood	Clinical characteristics and outcome of refractory/relapsed myeloid leukemia in children with Down syndrome.	Moritake H	小児科
Pediatric Blood and Cancer	Cytomegalovirus retinitis as an adverse immunological effect of pulses of vincristine and dexamethasone in maintenance therapy for childhood acute lymphoblastic leukemia.	Moritake H	小児科
Journal of Pediatric Hematology and Oncology	Efficacy of Temozolomide in a Central Nervous System Relapse of Neuroblastoma with O6-Methylguanine Methyltransferase (MGMT) Promoter Methylation.	Moritake H	小児科
Journal of Clinical Investigation	EWS/ATF1 expression induces sarcoma from neural crest-derived cells in mice.	Moritake H	小児科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood	Frequent somatic mosaicism of NEMO in T cells of patients with X-linked anhidrotic ectodermal dysplasia with immunodeficiency.	Nunoi H	小児科
Experimental Biology Medicine (Maywood)	PEGylated D-amino acid oxidase restores bactericidal activity of neutrophils in chronic granulomatous disease via hypochlorite.	Nunoi H	小児科
日本小児科学会雑誌	重症心身障害児に透析を導入した2例.	布井 博幸	小児科
心身医学	小児がん患者における病気のとらえ方の検討.	盛武 浩	小児科
臨床血液	小児非ホジキンリンパ腫の治療成績: 九州・山口小児がん研究グループKYCCSG NHL89-, 96.	盛武 浩	小児科
Hepato-Gastroenterology	Characteristics and surgical outcome of HCC patients with low platelet count.	Kondo K	第一外科
Hepato-Gastroenterology	Comparative study of gastric emptying and nutritional status after pylorus-preserving versus subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy.	Hiyoshi M	第一外科
International Surgery	Difference of Recurrence Patterns between Anastomosis and Strictureplasty after Surgical Treatment for Crohn Disease.	Chijiwa K	第一外科
Hepato-Gastroenterology	Factors Influencing Quality of Life after Abdominal Surgery for Crohn's Disease.	Chijiwa K	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
HPB	Nuclear expression of thioredoxin-1 in the invasion front is associated with outcome in patients with gallbladder carcinoma.	Nagano M	第一外科
Hepato-Gastroenterology	Role of hilar resection in the treatment of hilar cholangiocarcinoma.	Otani K	第一外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Science	Selection of prophylactic antibiotics according to the microorganisms isolated from surgical site infections (SSIs) in a previous series of surgeries reduces SSI incidence after pancreaticoduodenectomy.	Kondo K	第一外科
Surgery Today	The Role of Standardized Uptake Value of 18-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography-Computed Tomography in the Detection of Primary Tumor and Lymph Node Metastasis in Patients with Colorectal Cancers.	Chijiwa K	第一外科
Hepato-Gastroenterology	Thrombin stimulates integrin $\beta 1$ -dependent adhesion of human pancreatic cancer cells to vitronectin through protease-activated receptor (PAR)-1.	Maehara N	第一外科
日本臨床外科学会雑誌	Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニアの3例.	千々岩一男	第一外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Verification of Tokyo Guidelines for diagnosis and management of acute cholangitis.	Fujii Y	第一外科
胆道	進展度に応じた胆嚢癌の外科的治療戦略.	甲斐真弘	第一外科
日本小児外科学会雑誌	腸回転異常症を伴わないbasilar型小腸軸捻転症の1例.	千々岩一男	第一外科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Thoracic and Cardiovascular surgery	Aortic annulus diameter measurement: what is the best way.	Nakamura K	第二外科
Annals of Vascular Diseases	Circumferential dissection of the ascending aorta "intimo-intimal intussusception".	Nakamura K	第二外科
Anticancer Research	Elevated preoperative inflammatory markers based on neutrophil-to-lymphocyte ratio and C-reactive protein predict poor survival in resected non-small cell lung cancer.	Tomita M	第二外科
Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology	Maximum SUV on positron emission tomography and serum CEA level as prognostic factors after curative resection for non-small cell lung cancer.	Tomita M	第二外科
Lung Cancer International	Preoperative total serum cholesterol and patients' survival in resected nonsmall cell lung cancer.	Tomita M	第二外科
Annals of Cancer Research and Therapy	Salvage surgery of nonremovable metallic stent for adenoid cystic carcinoma and the subsequent difficulty of airway management.	Ayabe T	第二外科
日本消化器内視鏡学会雑誌	胃内に脱出した食道癌肉腫の1例.	中村都英	第二外科
宮崎医学会誌	左胸膜外肺全摘術を施行した悪性胸膜中皮腫の1例.	綾部貴典	第二外科
日本血管外科学会雑誌	重複胸部大動脈瘤に対してopen stent法を用いた計画的ハイブリッド治療の2例.	中村 都英	第二外科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本呼吸器外科学会雑誌	術前診断が困難であった対側肺転移を伴う肺類基底細胞癌の1切除例.	綾部貴典	第二外科
宮崎医学会誌	精神疾患を有する乳癌手術症例の臨床的検討.	綾部貴典	第二外科
胸部外科	前領域肺尖部第1肋骨浸潤肺癌に対する傍胸骨アプローチ.	富田雅樹	第二外科
宮崎医学会誌	肺癌に対するCBDCA+weekly PTX化学療法.	綾部貴典	第二外科
胸部外科	肺尖部第1肋骨浸潤肺癌に対する傍胸骨アプローチ.	中村都英	第二外科
宮崎医学会誌	非小細胞肺癌術後のCBDCA+GEM化学療法の検討.	綾部貴典	第二外科
Journal of Spine Research	80歳以上の脊椎疾患の治療戦略 当科における超高齢者の頸椎手術の術後成績.	濱中秀昭	整形外科
Biopharmaceutics & Drug Disposition	A diclofenac suppository-nabumetone combination therapy for arthritic pain relief and a monitoring method for the diclofenac binding capacity of HSA site II in rheumatoid arthritis.	Chosa E	整形外科
Journal of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine	BTBと薄筋腱を併用した2重束ACL再建術.	田島卓也	整形外科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	Effect of genu recurvatum on the anterior cruciate ligament-deficient knee during gait.	Kawahara K	整形外科
International Journal of Spine Surgery	Posterior occipito-axial fixation applied C2 laminar screws for pediatric atlanto-axial instability caused by Down syndrome - Two cases report -.	Kuroki H	整形外科
The Open Spine Journal	Single-group study to explore the optimal management of neuropathic scoliosis caused by neural axis abnormalities based on its clinical features.	Kuroki H	整形外科
臨床バイオメカニクス	TSB下腿義足とPTB下腿義足の接触圧力解析.	鳥取部光司	整形外科
臨床バイオメカニクス	アナトミカル型セメントレス・ステムにおける荷重伝達様式の術後評価 -術前・術後CT画像に基づいた患者別有限要素解析-	帖佐悦男	整形外科
日本関節病学会誌	関節リウマチ膝滑液包炎にリンパ管腫を合併した1例.	帖佐悦男	整形外科
Journal of Japanese Orthopaedic Society of knee, Arthroscopy and Sports Medicine	鏡視下腱板修復術後における吸収性アンカー孔の拡大.	石田康行	整形外科
Journal of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine	鏡視下腱板修復術後における非吸収性アンカー孔の検討.	石田康行	整形外科
肩関節	鏡視下腱板修復術後の腱板修復状態と可動域推移の関係.	石田康行	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科と災害外科	頸椎椎弓形成術手術創に対するダーマボンドRHVの使用経験.	黒木浩史	整形外科
整形外科と災害外科	高齢者の大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績-成績不良例の検討-	帖佐悦男	整形外科
整形外科と災害外科別冊	手術適応厳選前後の鏡視下腱板修復術の成績.	石田康行	整形外科
Journal of Spine Research	脊柱側弯症に対する後方矯正固定術における instrumentation failureの検討.	黒木浩史	整形外科
整形外科と災害外科	当科における化膿性脊椎炎の検討.	黒木浩史	整形外科
Journal of Spine Research	当科における超高齢者の頸椎手術の術後成績.	黒木浩史	整形外科
Journal of Spine Research	当科側弯症外来における脊柱側弯症初診時進行例 -初診時Cobb角50°以上の症例での検討-	黒木浩史	整形外科
整形外科と災害外科	非定型大腿骨骨折の治療経験.	帖佐悦男	整形外科
Journal of Japanese Orthopaedic Society of knee, Arthroscopy and Sports Medicine	膝外側円板状半月に合併した大腿骨内顆離断性骨軟骨炎の治療経験.	石田康行	整形外科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine	膝複合靭帯修復・再建術症例の検討.	田島卓也	整形外科
整形外科	変形性膝関節症に対するヒアルロン酸製剤の維持投与療法の有効性 -前向き多施設共同比較試験-	渡邊信二	整形外科
整形・災害外科	有限要素法による人工股関節置換術のバイオメカニクス研究.	帖佐悦男	整形外科
The Journal of Dermatology	Angioadnexocentric nevus.	Amano M	皮膚科
西日本皮膚科	Nerve Sheath Myxoma と Neurothekeoma.	瀬戸山 充	皮膚科
The Journal of Dermatology	Primary mucinous carcinoma of the skin in the hypogastric region: A case of regional lymph node metastases 2 years after surgery.	Amano M	皮膚科
西日本皮膚科	リツキシマブ耐性化を示したPrimary Cutaneous Diffuse Large B cell Lymphoma, Leg Typeの1例.	堀川永子	皮膚科
西日本皮膚科	リンパ節転移を生じた乳房外パジェット病の1例.	前久保理恵	皮膚科
Skin Cancer	術後補助療法として化学放射線療法を施行したメルケル細胞癌の1例.	瀬戸山 充	皮膚科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会雑誌	皮膚リンパ腫と鑑別すべき疾患、偽リンパ腫を中心に、	天野正宏	皮膚科
Skin Cancer	膝窩部にセンチネルリンパ節を認めた下腿・足部皮膚悪性腫瘍の検討。	持田耕介	皮膚科
西日本皮膚科	両側眼瞼の著しい膨張を認めた抗EJ抗体陽性皮膚筋炎の1例。	瀬戸山充	皮膚科
Anticancer Research	Functional Polymorphism in the CAV1 T29107A Gene and Its Association with Prostate Cancer Risk among Japanese Men.	Tsukino H	泌尿器科
Japanese Journal of Ophthalmology	Evaluation of inner retinal thickness around the optic disc using optical coherence tomography of a rodent model of nonarteritic ischemic optic neuropathy.	Maekubo T	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Rodent model of nonarteritic ischemic optic neuropathy and its electrophysiological evaluation.	Chuman H	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Vasodilatory effects of antivascular endothelium growth factor (VEGF) antibody, corticosteroid, and nitric oxide on the posterior ciliary arteries.	Chuman H	眼科
Otology Japan	混合難聴を伴った肥厚性硬膜炎の2症例。	東野哲也	耳鼻咽喉科
International Journal of Otolaryngology	Mucin production and mucous cell metaplasia in otitis media.	Tono T	耳鼻咽喉科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical genetics	Mutations in the NOG gene are commonly found in congenital stapes ankylosis with symphalangism, but not in otosclerosis.	Tono T	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会 会報	Propranololが著効した乳幼児耳下腺血管腫の1例.	東野哲也	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会 会報	User症候群の臨床的タイプ分類の問題点.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	宮崎県の新生児聴覚スクリーニング事業-新生児聴覚スクリーニングセンターと難聴支援センターの実績-.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会 会報	剣道による聴覚障害-高等学校剣道部員に対する18年間にわたる聴覚健診の成果-.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
Equilibrium Research	心因性めまいと精神疾患の検討.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 supplement1	人工内耳医療から学んだ難聴病態:蝸牛電気刺激検査と後迷路性難聴.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
Otology Japan	弛緩部型中耳真珠腫例における外耳道後壁破壊程度のCT評価.	東野 哲也	耳鼻咽喉科
Otology Japan	内耳道内血管腫の1症例.	東野 哲也	耳鼻咽喉科

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	Ability of water-soluble biosubstances to eliminate hydroxyl and superoxide radicals examined by spin-trapping ESR measurements: two-dimensional presentation of antioxidative ability.	Sameshima H	産科婦人科
Brain and Development	Activation of acetylcholine receptors and microglia in hypoxic-ischemic brain damage in newborn rats.	Sameshima H	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Case report and review of delayed-interval delivery for dichorionic, diamniotic twins normal development.	Kaneko M	産科婦人科
Analytical and Bioanalytical Chemistry	Characteristics of the spin-trapping reaction of a free radical derived from AAPH: further development of the ORAC-ESR assay.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Molecular Neuroscience	Comprehensive Gene Expression Analysis of Cerebral Cortices from Mature Rats After Neonatal Hypoxic-Ischemic Brain Injury.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of pediatric Surgery	Congenital infantile fibrosarcome in very low-birth-weight infant.	Sameshima H	産科婦人科
Neurochemical Research	Enhancement of In Vivo Antioxidant Ability in the Brain of Rats Fed Tannin.	Sameshima H	産科婦人科
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Fetal heart rate patterns related to neonatal brain damage and neonatal death in placental abruption.	Sameshima H	産科婦人科
Stroke Research and Treatment	Hypoxia-ischemic neonatal encephalopathy: Animal experiments for neuroprotective therapies.	Sameshima H	産科婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Maternal Fetal Medicine	Immediate newborn outcome and mode of delivery: Use of standardized fetal heart rate pattern management.	Oonishi J	産科婦人科
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Mortality rates for extremely low-birthweight infants: A regional, Population-based study in Japan during 2005-2009.	Kaneko M	産科婦人科
Journal of Maternal Fetal Neonatal Medicine	Perinatal death and neurological damage as a sequential chain of poor outcome.	Sameshima H	産科婦人科
糖尿病と妊娠	Population-based研究による子宮内胎児死亡の原因.	児玉由紀	産科婦人科
Journal of Pregnancy	Risk-based screening for thyroid dysfunction during pregnancy.	Sameshima H	産科婦人科
日本臨床麻酔学会誌	胎児病態から見た帝王切開.	鮫島 浩	産科婦人科
臨床血液	臍帯血移植後に肺水腫を繰り返した乳児急性リンパ性白血病.	澤大介	産科婦人科
Neuroimage	Imaging epigenetic regulation by histone deacetylases in the brain using PET/MRI with 1 F-FAHA.	Nishii R	放射線科
Brain	Is misery perfusion still a predictor of stroke in symptomatic major cerebral artery disease?	Nishii R	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Radiology	Loss of cellular viability in areas of ground-glass opacity on computed tomography images immediately after pulmonary radiofrequency ablation in rabbits.	Nakada H	放射線科
Brain and Development	Passive toothbrushing-induced seizures: report of a severely disabled girl.	Nishii R	放射線科
Surg Today	Role of the standardized uptake value of 18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography-computed tomography in detecting the primary tumor and lymph node metastasis in colorectal cancers.	Nagamachi S	放射線科
Nuclear Medicine and Biology	Transport mechanism of (11)C-labeled L- and D-methionine in human-derived tumor cells.	Nishii R	放射線科
日本集中治療医学会雑誌	ダイナミックスケールは術後早期の血糖コントロールに有用である。	與那覇 哲	手術部
ICUとCCU	血球貪食症候群に合併したDICにトロンボモデュリンアルファを投与した1症例 血漿中プラスミノゲンアクチベーターインヒビターの波長から。	矢野武志	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌	全身性エリテマトーデス発症後早期に肺胞出血を呈して死亡した一症例。	矢野 武志	麻酔科
The Journal of Dermatology	Epiplakin modifies the motility of the HeLa cells and accumulates at the outer surfaces of 3-D cell clusters.	Mizuguchi S	脳神経外科
Brain Tumor Pathology	Hypoxia-induced decreases in SOCS3 increase STAT3 activation and upregulate VEGF gene expression.	Yokogami K	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Molecular & Cellular Proteomics	Integrated proteomics identified novel activation of dynein IC2-GR-COX-1 signaling in NF1 disease model cells.	Mizuguchi S	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	原発性脳腫瘍との鑑別に苦慮したtumefactive multiple sclerosisの1例.	上原久生	脳神経外科
脳神経外科速報	脳腫瘍治療中にメロニダゾール脳症をきたした1例.	竹島秀雄	脳神経外科
Journal of oral and maxillofacial surgery	Comparison of Material-Related Complications After Bilateral Sagittal Split Mandibular Setback Surgery: Biodegradable Versus Titanium Miniplates.	Yoshioka I	歯科口腔外科・ 矯正歯科
The Journal of Pathology	Loss of membrane-bound serine protease inhibitor HAI-1 induces oral squamous cell carcinoma cells' invasiveness.	Baba T	歯科口腔外科・ 矯正歯科
Cancer Science	Overexpression of the DNA sensor proteins, absent in melanoma 2 and interferon-inducible 16, contributes to tumorigenesis of oral squamous cell carcinoma with p53 inactivation.	Kondo Y	歯科口腔外科・ 矯正歯科
Biological & Pharmaceutical Bulletin	Caffeine increases the antitumor effect of cisplatin in human hepatocellular carcinoma cells.	Arimori K	薬剤部
九州薬学会会報	入院中の他科受診について.	有森和彦	薬剤部
Neuropathology	Cerebral phaeohyphomycosis:Case report.	Ochiai H	救命救急センター

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Clinical Oncology	Clinical features and treatment outcomes of isolated secondary central nervous system lymphomas in Miyazaki Prefecture.	Ochiai H	救命救急センター
九州救急医学雑誌	抗けいれん薬による薬剤性過敏症症候群ならびに血球食食症候群を生じたと思われた1例.	落合秀信	救命救急センター
J Med Syst	Operational problems of Haniwa net as a form of social capital: interdependence between human networks of physicians and information network.	Araki K	医療情報部
Journal of Medical Systems	Design and development of EMR supporting medical process management.	Araki K	医療情報部
Journal of Medical Systems	Development of fundamental infrastructure for nationwide EHR in Japan.	Araki K	医療情報部
Journal of Medical Systems	Ontology-based clinical pathways with semantic rules.	Araki K	医療情報部
Journal of Medical Systems	Performance assessment of EMR systems based on post-relational database.	Araki K	医療情報部
日本排尿機能学会誌	宮崎大学医学部附属病院でのトイレ一体型尿流量測定装置(尿流測定トイレ)の活用.	荒木 賢二	医療情報部
Leukemia	Clinical significance of CADM1/TSLC1/IgSF4 expression in adult T-cell leukemia/ lymphoma.	Marutsuka K	病理部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diagnostic Cytopathology	Examination of CD26/DPPIV, p53, and PTEN expression in thyroid follicular adenoma.	Marutsuka K	病理部
Atherosclerosis	Usefulness of carotid intima-media thickness measurement as an indicator of generalized atherosclerosis: Findings from autopsy analysis.	Marutsuka K	病理部
Thrombosis Research	Podoplanin expression in advanced atherosclerotic lesions of human aortas.	Hatakeyama K	病理部
Histology and Histopathology	Associations of intrauterine growth restriction with placental pathological factors, maternal factors and fetal factors; Clinicopathological findings of 257 Japanese cases.	Sato Y	病理部
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	Different distribution of Pentraxin 3 and C-reactive protein in coronary atherosclerotic plaques.	Hatakeyama K	病理部
Journal of Oleo Science	Effect of dietary blueberry (<i>Vaccinium ashei</i> reade) leaf on serum and hepatic lipids in rats.	Kataoka H	病理部
PLoS ONE	Hepatocyte growth factor activator inhibitor-1 (HAI-1) induced by bone morphogenetic proteins regulates proliferation and cell fate of neural progenitor cells.	Kataoka H	病理部
Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology	Human Apolipoprotein A-II Protects Against Diet-Induced Atherosclerosis in Transgenic Rabbits.	Asada Y	病理部
Journal of Thoracic Oncology	Identification of CCDC6-RET fusion in a human lung adenocarcinoma cell line, LC-2/ad.	Kataoka H	病理部

小計9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Physiology – Gastrointestinal and Liver Physiology	Loss of HGF activator inhibits foveolar hyperplasia induced by oxyntic atrophy without altering gastrin levels.	Kataoka H	病理部
Journal of Biological Chemistry	Osteoblast-like differentiation of cultured human coronary artery smooth muscle Cells by bone morphogenetic protein endothelial cell precursor-derived regulator.	Asada Y	病理部
Atherosclerosis	Paucity of CD34-positive cells and increased expression of high-mobility group box 1 in coronary thrombus with type 2 diabetes mellitus.	Yamashita A	病理部
Thrombosis Haemostasis	Plasma factor Xa inhibition can predict antithrombotic effects of oral direct factor Xa inhibitors in rabbit atherothrombosis models.	Asada Y	病理部
Journal of Medical Case Reports	Pyogenic granuloma of the urinary bladder: a case report.	Kataoka H	病理部
Human cell	Regulation of pericellular proteolysis by hepatocyte growth factor activator inhibitor type 1 (HAI-1) in trophoblast cells.	Fukushima T	病理部
Thrombosis Research	Thrombus components in cardioembolic and atherothrombotic strokes.	Sato Y	病理部

小計 7

合計 196

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 池ノ上 克
管理担当者氏名	総務課長 濱野 満夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		電子媒体（電子カルテ） 及び 各診療科	<ul style="list-style-type: none"> 原則電子カルテ、ただし紙カルテは外来、入院別に1患者1ファイル方式のID番号順で分類。 エックス線写真は電子媒体に保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	なし	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 池ノ上 克
閲覧担当者氏名	総務課長 濱野 満夫
閲覧の求めに応じる場所	ミーティングルーム (管理棟 3階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	86.3 %	算定期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		10,118 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,442 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,245 人
	D: 初診の患者の数		14,198 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療に係る安全管理の基本的考え方2. 医療に係る安全管理体制3. 職員研修4. 事故報告等の医療安全確保を目的とした改善方策5. 医療上の事故等発生時の対応6. マニュアルの作成7. 患者等との情報の共有8. 患者からの相談への対応9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故防止のための具体的措置に関する事。2. 医療事故防止対策マニュアルに関する事。3. 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。4. 医療事故発生時の原因究明、改善策の立案・実施及び職員への周知に関する事。5. 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。6. 医療事故発生時の家族や患者への対応に関する事。7. インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。8. 医療安全管理部の業務に関する事。9. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に関する事。10. 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に関する事。11. その他医療事故等及び医療訴訟に関する事。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年29回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する講演会（※ビデオによる講習会含む）（12回）2. 各部署との勉強会（5回）3. 新規採用者研修（12回）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. リスクマネージャー会での事例報告及び周知2. 作業標準の作成3. 医療事故防止対策マニュアルの作成・見直し4. 院内ラウンド5. 部署毎の医療安全に関する改善計画と改善結果の報告6. 事例検証会、医療安全管理委員会での対策の検討、事例報告等	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (4) 名 ・ 活動の主な内容： 1. 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理委員会 (以下「委員会」という) の運営に関すること。 2. インシデント及び医療事故の原因究明状況の確認及び指導に関すること。 3. インシデント及び医療事故に関する診療録、看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること。 4. インシデント及び医療事故の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。 5. 患者からの医療に係る相談に関すること。 6. インシデント及び医療事故の調査及び分析に関すること。 7. 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。 8. 医療安全のための教育・研修に関すること。 9. 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 10. 委員会での決定事項の実施状況調査及び見直しに関すること。 11. 医療安全のための啓発、勧告、改善命令に関すること。 12. その他医療事故防止及び医療の安全管理に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に対する基本的な考え方2. 委員会等の組織に関する基本的事項3. 職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針報告6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年16回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染の予防に関すること。2. 感染の情報の収集に関すること。3. 感染源の追及等のための検査の実施に関すること。4. 防疫対策の確立に関すること。5. その他感染対策についての重要事項に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策に関する講演会（※ビデオ録画による講習会含む）（12回）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策担当者会議での報告及び周知2. 院内ラウンド3. 院内感染対策マニュアルの作成、見直し4. ICT会議、感染対策委員会での対策の検討、事例報告等5. サーベイランス6. コンサルテーション	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容： 4月 医員（研修医）対象：オリエンテーション開催 医薬品の安全について 4月 全職員対象：新・指定抗菌薬の届出システムについて	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （有・無） ・ 業務の主な内容： (1) 業務手順書に基づいて業務が実施されているかチェック表を用いて確認した。 (2) 医薬品安全管理上注意すべき情報提供を全職員に対し随時行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 業務手順書は、作成後、各部門へ一部ずつ配布した。また、手順書の周知を徹底するために院内コンピュータネットワークの「First Class」及び電子カルテの「カムナビ」に掲載し、全職員が閲覧できるようにした。 (2) 業務手順書を現場の実情にあうように改訂した。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	適宜
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 機器の取扱説明、心筋保護法説明、システムに関する説明</p> <p>(2) 人工呼吸器 機器の取扱説明、各種アラームと対処</p> <p>(3) 血液浄化装置 機器の取扱説明、トラブルについて</p> <p>(4) 除細動器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>(5) 閉鎖式保育器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応</p> <p>(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(2) 人工呼吸器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(3) 血液浄化装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(4) 除細動器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(5) 閉鎖式保育器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の不具合や健康被害等に関する院内外の情報について、医療機器安全管理責任者から必要に応じて病院長並びに医療安全管理委員会へ報告するとともに、院内への周知や対応を行う。</p>	